

JR神戸線踏切通行止め社会実験の調査結果について

昨年11月に、JR東海道本線の2踏切（七ツ松踏切、三反田踏切）で実施した踏切社会実験において、近隣にお住まいの皆さまには交通規制によりご不便をおかけし、さらに、アンケート調査等にご協力いただきありがとうございました。

このたび、アンケート等の集計ができましたので、次のとおり結果をご報告いたします。

■結果報告

1.交通量調査結果

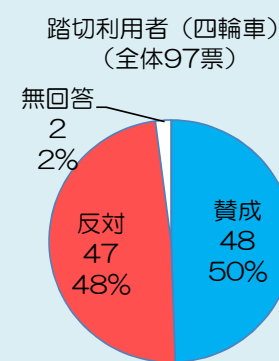
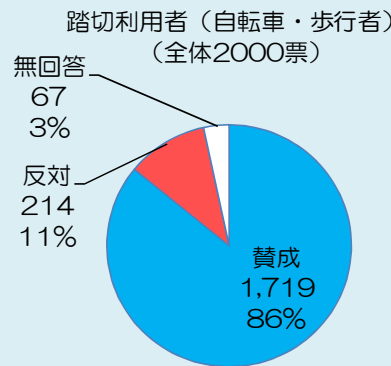
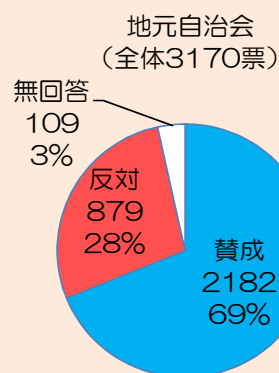
今回の社会実験により、両踏切を通行していた車両は、道意線や五合橋線等に迂回している傾向が見られましたが、七松線、道意線ならびに五合橋線の混雑は見られませんでしたので、踏切車両通行止めを行っても、実験前とほぼ変わりのない状況であることが確認できました。

2.アンケート結果

①地元自治会へのアンケート

- ・69%の方が今後の通行止めに『賛成』しています。
(三反田踏切周辺、七ツ松踏切周辺どちらも)
- ・車を所有していても、半数以上の方が通行止めに『賛成』しています。

問.今後も踏切通行止めを続けた方が良いですか？



②踏切利用者へのアンケート

- ・自転車・歩行者の86%が今後の通行止めに『賛成』しています。
- ・四輪車の50%が通行止めに『賛成』されており、48%は『反対』ですが、76%の方は迂回を『我慢できる』と回答がありました。

③特に多かった意見

- ・子供やお年寄りが多いので車両通行止めになり安心して通れた。今後も規制を希望
- ・今まで自動車に何回もぶつかりそうになり怖かったので朝夕だけでも規制してほしい
- ・終日規制では困るので、通勤通学のピーク時間に合わせた時間規制を希望
- ・バイクや自転車がもっとマナーを守るべき。左側通行を徹底させる方法を考えてほしい
- ・地元住民が不便を感じない対策にすべき

■今後の方針について

今回の実験で、通行止めによる周辺道路への影響が少ないことや、通行止めに『賛成』されている方が多いことが分かりました。

この結果から、みなさまのご意見を参考に両踏切の全日「車両通行止め」の実施に向けて兵庫県警と協議し、平成29年夏ごろから規制を始めることを目標に取り組んでまいります。なお、規制が決まり次第、実施の2か月前を目途に回覧や案内看板等で報告いたします。

今後とも、ご理解ご協力よろしくお願いいたします。